



Island

Kindaichi Shonen no Jitenbo Fanbook #09
Akechi x Kindaichi Presented by EDITON 2023102119

Go to next page
↪



後ろを
弄らないと
イケない……!

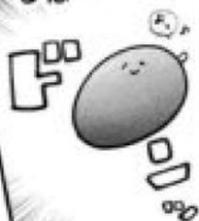
金田一は
苦悩していた――

俺は
いたって健康的な
性癖の持ち主
だったはずだ

それが!

帰国してから
いつものもの
オカズでは
射精に至らん!

例の無人島で
あの実の効果が出
てからの記憶は
ほんやりしている
ものの



明智と一線越えたのは
(ついでに死ぬほど)
気持ちよかったのも)
覚えている!!

耳に吹き込まれる
熱い息――

丹念でポイントを
逃さない愛撫も



……金田一くん

切羽詰まった
ように
名前を呼ぶ声



クソ明智……!!



ここが
好き?



もっと
長くて

中性的な
顔面のわりに
節ばった指で



うん……

普段からは想像も
できないくらい
熱っほい瞳で
仔細を観察されながら

イ……ッ

アッ



ほっ
ほっ

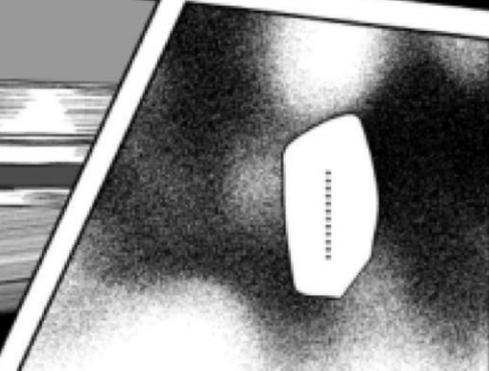


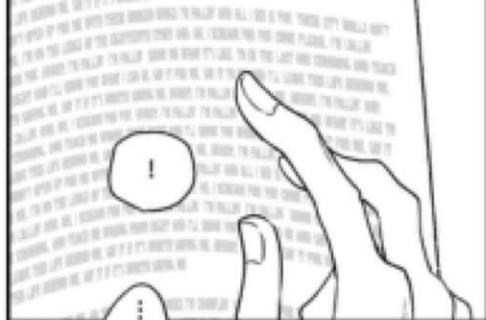
奥まで
触れられたい

フワッ

もど







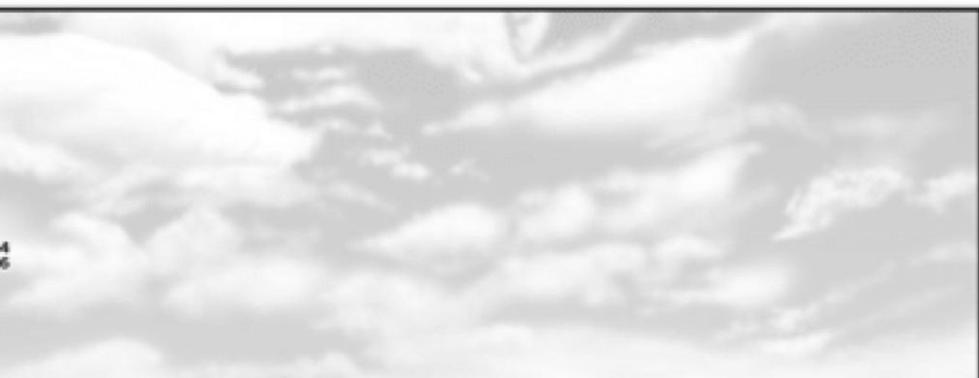
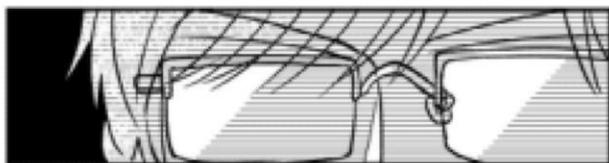
北海道の
最悪の出会いから
3年――

数々の
難事件や
修羅場を
くぐってきた
とはいえ

ただの
腐れ縁だった
はずだ

――
あるいは

私自身が
そう思い込んで
いたかった
だけなのか





つまり――

あの島での
出来事以来
自慰行為に
支障が
出ているので
定期的に
抱いてほしい
と……

はぢぢぢぢ

そくゆ
言い方されると
身も蓋も
ないだろ！

半分は
あんたのせい
だからな！

合意
だったじゃ
ないですか

まあアレは
非日常で起きた
アクシデントで

確かに
あの時点では
お互いの他に
頼れる者も
いなかった

!!
アレか

しかしここでは別です
もっとふさわしい相手も
目的を達成する手段も
選択肢は山ほど
あるでしょう

外見と経済力に
ヨユーのあるヤツは
言うことが違うな！
俺だってそれができたら
そうしとるわ！

はあ…
まあ
ダメもと
だったから
いいよ





その件――

私が
引き受けましょう

ただし
ひとつ
条件が
あります

私と肉体関係に
ある期間は
他の人物と
性的接触を
持たないと
約束できますか？

つまり
キミと私が
疑似的な
恋人関係に
あると考えて
もらって
結構です

……
いいよ

やること
やるんだし
な……

バツと
彼女作れる
アテが
あれば
そもそも
頼んで
ねーし

あれ？

逆は？



まあ……
俺は今のところ恋人の
あてもないから
いいけど

うん

それって
アンタに恋人が
きたら俺は
放り出されちゃう
のか……？



それじゃ

交渉成立と
いうことで

ヨロシク
オネガイシマス……



……

……



それは
ないんじゃない
ですか？



忙しいから？

いすれ
わかりますよ



ベッドの上で
眼鏡を外した
アイツは

思っていたより
慎重な手つきで

探るように
触れるのが
逆にもどかしい



クン……ッ



シラフなのに
こんなにイイ
なんてこと
あるのかよ……っ



はろ……

俺はアンタしか
知らねーから
比べようがないのを
いいことに!



エア眼鏡

そーゆーこと
言うから
感じ悪いんだぞ!

私が上手いからでは?

生まゆぎ
のせ
ものぞ



!

……
変なこと
言った?

いいえ?

お







金田一くん…

舌を絡めて
突かれるのが
好き？

いつだって
小生意気な
この少年の
可愛げのない
態度に
垣間見える

信頼の情と――







なんかヤバイ
気がする…

朝食に
しましょう



欲求不満は
おさまりましたか？

うん…まあ



週一か…



はい？

週二から…



家に来て
もいい？



ま それならば
この奇妙な関係も
意義があるのでしよう









それから

週末だけのはずが
いつの間にか
週3になり

泊まりも言んだ
週4になり



家外居心地も
悪くなく

誰にも
言えないまま
いつの間にか
半同居みたいなの
流れになっている

ついで
だよ

こんなのは
おかしい
こんなはずでは…

ねえ！
はじめちゃん！
聞いた？



聞いて
はじめちゃん!

明智さん
恋人できた
らしいよ!

大空まき雪さん

あ〜……?
そうなの?

は?

この間
大学の近くで
刑事さんたちに
バッタリ
会って…

証言者1
剣持警部

ハチマン刑事のサマデ!!

ここ数ヶ月——
どうしても泊まりになる
事件のとき以外は
毎日怒涛の仕事量を
キツチリ定時に終わらせて
そそくさと帰路に着く
あれは連れ合いができたな
間違いない!

俺だよ!!
思ったより
帰宅早いから
暇なのかと
思ってたわ!!

大空まき
ハチマン刑事

証言者2
正野刑事

登庁早々
やけにご機嫌な時が
ありまして…
ふと見たら胸元に
艶やかで長い
濃茶色の髪の毛が…
あれは恋人ですよ
清楚系と見ました

俺んだよ!!

明智宅の
シャンブーと
ドライヤーの
せいで労せずして
髪がサラサラ!!

しかもそれ朝から
盛り上がっちゃった的な
アレの時だな…



証言者3
小林巡査

流行りの
スイーツに
並んでは
2つずつ
買って帰って
らしいよ
アレは
決まった人が
いますね!

それ食ったの
俺だよ!!!

並ぶぞ

アホな

明智

小林

私もね!

おとといのお昼に
日比谷のホテルの前で
たまたま明智さんを見
かけたんだけど――

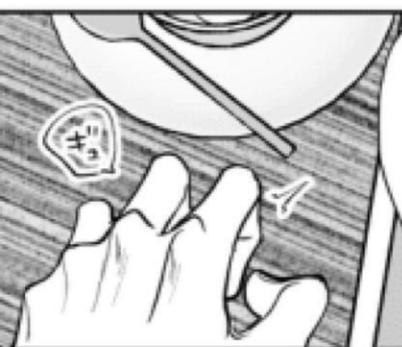
それは俺……

あの時
一緒だった人
なのかなあ……

……じゃないな

背の高い
洗練された
雰囲気的女性
だったよ

明智さん!



お似合いだったなら



なんだこれ……

あれ？

イヤミがモチんのは
いつものことだし

あくまで
2人でいるときだけの
擬似的な関係って
ことだったろ

俺の知らないところで
あいつが
なにやっつていようと

俺の管轄外

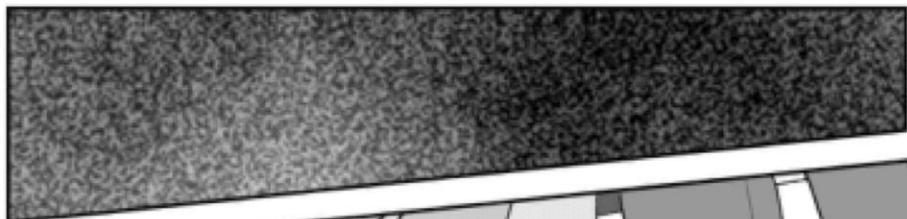


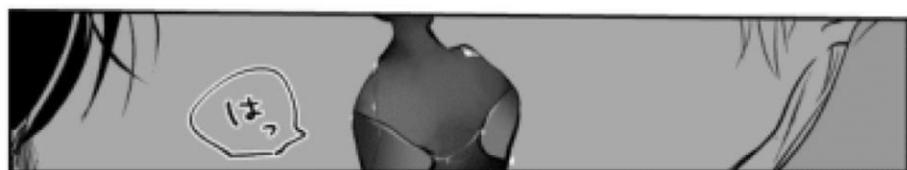
美雪

それ——
どこのホテル
だって？

じゃあ
このモヤモヤは
なんだ——







す
...
す

待って...

本当に
どうしたんです？

は、え、

.....

.....







ちよつと
聞いた
だけだし...



じゃあ
いいや...

.....
「はす」
っ



もしかして
妬いて
くれたんですか

妬くわけ
ないだろ

そう
ですか



へ？

まあ
少しでも
不安に
思わせたら
私の落ち度
でしょうか



残念
ぼそ...

！



金田一くん











こいつ
こんな
余裕ない顔も
するんだな…

……は

……う

あッ



ああ…
こういう
顔も

はっ



—好きだな

……

あッ……

うあッ

あッ

……う

!!



無理を...
させましたか



ホッ

ほろ

っ!

ホッ



やめてくれ

すみません
すぐ
抜きます

...違う



ほろ

トン
トン

いたわる
ように
触れるな



?

そんな
大事なものを
見るような
目をするな

もとは
体から始まった
関係じゃんか…

これがなくなったら
アンタの隣にいる
理由がなくなっちゃう…

どうしよう…

俺…

アンタのこと
本当に好きに
なっちゃったかも
しんない…





アンタ
そーゆートコ
タチ悪イからな



自分で
退路を塞ぐ
なんて…

本当に
馬鹿ですね…



では
晴れて
正規恋人
として



続きを
しますか？



もうこれまで
何度も
してんのに
今更だろ

ははっ

いいけど



未だなドロドロ愛
だいたくろくさ
かつかつた

なんなんだ
アイツは…!!

おはよう

はま

はま



言ったじゃないですか
「正規恋人」モード

伊とまき!

アンタの
歴代彼女
このノリで
抱かれてんの!!
は、あ、ま、ま、ま!!

あいにくここまで
入れ込む人は
キミが初めてです

……

……

……

そ……
そうですか……



かつてあの地域で
婚礼の際
供されていた
そうです

—あの島で
キミが食べた
実ね



効能の一つは
我々が
身をもって知った
通りですが—



まあこれが
婚礼の際には
トラブルのもとになって
あの実を口にする文化は
次第に廃れたようです

意識が朦朧として
心のタガが外れて

秘める心の内を
吐露してしまう



もうひとつ
多量に摂取すると
厄介な効能が



ま
きっかけは
どうあれ



マジかよ
おぼよて
小いじ

マジです



あ
けちさ……

キミは確かに
私のことを
「すき」と言った

島で我々が
行為に耽って
いたとき



消去法で
仕方なく
私を頼った
よう

実際のところは
案外最初から
キミは私を
選んでくれて
いたんじゃないかと

——そう
都合よく解釈して
ざるざる
関係を続けるのは
大人げないと
自覚はしていたん
ですがね……



ともあれ
気づかせたのは
キミです



恋人ごっこも
なにも…

結局アンタの
手のひらで
踊れられてたって
コトかよっ!?



責任とって
くれないと

コッチの
セリフだ
キザ眼鏡



明智サン
さあ……

俺に「好き」って
言われんの
好きでしょ

……
どうですか？

……

……



やっぱ
キライだわ
タソ

.....

もう終わり
ですか？
残念



ま
惜しかった
ですね

「好き」と
言われるのが
好きなのは
なく——

いつもより
少し素直な
キミが好き



おまけ オワリ

あとがき

ここまで読んで下さってありがとうございます。

2021年3月に出した前回の無人島本のあとがきで、推している乳酸菌の球団がぶっちぎり最下位とか言ってたのに、その年に日本一、翌年リーグ優勝するとは誰が予想できたのか…

おかげで100ページの本ができました！！！！

半分ギャグみたいなどころから始まった無人島ネタのわりに、今までで一番ラブコメっぽくなったんじゃないかと自負しておりますがいかがでしょうか…

これを描いてる途中にパディミッションBONDというゲームにハマりまして、個人誌4冊と寄稿分で約200ページほど描いたり、出張編集部に行ってアドバイスいただいたりがあったので、絵を描くという点ではだいぶ上達している…ような…気がしています。

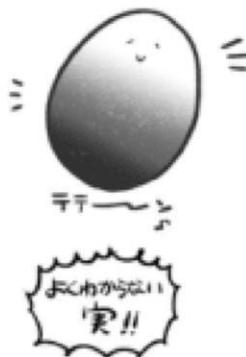
ちょっとでも読みやすくなっていたら幸いです。

30周年でまさかのコラボカフェや編集たちに事件簿や金田一少年の復活、イブニング休刊など(……)話題に事欠きませんが、数年周期で来る原作者から明金爆弾がそろそろくるといいなぁ…

昔出した金田一くんが骨折する本の、今度は警視が骨折するバージョンの話とか、クリスマスごとに心が接近してく明金の話とか、まだ描きたいネタが控えていますので、ペースは遅いですがゆるりとお付き合いいただければ嬉しいです。

BOOTHの方にいいねとか、右のURLからクリックするだけの感想フォームなどありますので、ポチッといただけたら活力になります！よろしくお祈りします！

エドト



スマホで読みやすいようにスクショして、LINEの「友だち追加」QRコードから「ライブ@edto」からサイトにアクセスしてね！



↑BOOTHのいいね♡はこちら



↑匿名感想フォームはこちら



奥付

Island(完全版)
2023年2月12日 発行

発行者
EDITION
edt(エドト)

twitter ID:
@e_d_t

Mail:
acco.edt@gmail.com

印刷
booknext

乱丁・落丁の場合はご連絡ください。
対応させていただきます。

まあ良かったよ (笑)

と思われたら

ニ感想サボイ

高品質の (笑) だ

押しこいただけと、おまじ

次作の明金のキスシーンが

増えたり... (笑)



いつも応援

ありがとうございます (笑)

